



# 言葉によって

大江健三郎

## 内容理解

この文章で筆者は、作家が、言葉によってその時代に生きる人間を捉え、さらにその時代そのもの、また時代を超えてその民族の文化そのものを表現しようとしていることを、具体例をあげて説明している。本文を読み直しながら、空欄に入る適切な言葉を補ってみよう。

作家は、言葉によって人間を捉えようとする。



作家は、言葉によって、自分の作り出した小説の

人間の存在と<sup>1</sup>と想像力そのものを現実化することを願う。



作家は、個人的な言葉が一個の人間の存在と行動と

<sup>2</sup>力を表現し、さらに<sup>3</sup>

の全体を表現できるかもしれないと思い、小説を書き続ける。

具体例 その場にはいない友人を他人に向け実在させようとしたとき、彼の言葉や自分が彼のために作り出す<sup>4</sup>によってしかそれはできない。

具体例 歴史を振り返ると、個人の言葉でありながら時代全体を表現する言葉、さらに時代を越えその民族の<sup>5</sup>を表現していると感じさせる言葉が見いだされる。

## 語句

この文章の中で使われていた次の言葉を使って、短文を作ってみよう。

想像力

野望

実在

時点



## 要旨

筆者の考えの中で最も大切と思われることを、指定された言葉を使って、百字前後の文章にまとめてみよう。

指定語 — 言葉・想像力

100

## 発展

次の中で興味を持った事項について、図書館の書籍やインターネットなどを使って調べてみよう。

- 「おもしろさうし」がどのような本で、その中の「うりずん」という言葉が、今日どのように使われているのか。
- 大江氏には他にどのような作品があるのか、さらに大江氏が受賞したノーベル文学賞がどのような賞なのか。
- 沖縄戦について、日本軍とアメリカ軍の戦いで、具体的にどのようなことが起こったのか。